

## 平成19年度身近な野生生物の観察事業について

### 1. 目的

- (1) 一般国民の生態系に関する関心・興味を養う。
- (2) 生態系の多様性を学ぶ。
- (3) 野生生物の異変の把握のためには継続的な調査、広域的な調査が必要であることを学ぶ。

### 2. 参加団体

次の条件を満たす団体を対象とし、7月からホームページ上で参加団体を募集し、28の参加団体を決定した。

- ① 普段から生き物の観察を行っていること。
- ② 平成19年11月までの期間、3回以上生き物の観察、報告を行うことができること。

### 3. 調査について

目的に照らし、平成19年11月までに少なくとも3回以上の調査を実施する。

### 4. 調査報告について

調査報告は、中間報告（10月9日（火）まで）及び最終報告（12月3日（月）まで）の2回提出すること。提出にあたっては各提出様式に沿った形で報告する。

### 5. 専門家によるアドバイスについて

本事業では、調査に関する疑問等が生じた場合、7名の専門家（指導委員）から、アドバイスを受けることができる。アドバイスを求める場合は、事務局を通じて行う。

#### <指導委員>

青山 博昭	残留農薬研究所毒性部副部長兼生殖毒性研究室長
井口 泰泉	自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンスセンター教授
斉藤 秀生	自然環境研究センター
戸田 光彦	自然環境研究センター
花里 孝幸	信州大学山岳科学総合研究所教授
福井 行雄	広島県立広高等学校教諭
安間 繁樹	農学博士（哺乳動物生態学研究者）

### 6. 観察準備会について

観察準備会を平成19年8月24日（金）に開催し、観察団体の代表者に対し、指導委員より観察にあたる助言が行われた。

### 7. こどもエコクラブ全国フェスティバルについて

別添参照。

## (参考) ExTEND2005 における「身近な野生生物の観察」事業の位置づけ

私たちの身の回りには、多様な生物種が生息しており、一方、私たちの人間活動によって様々な環境リスクが発生している。その一つに化学物質による環境リスクが挙げられる。

化学物質による環境リスクは人への影響だけでなく、生態系への影響も含まれている。これからは、人への影響だけでなく生態系への影響についても子どもたちや一般市民の方々に知ってもらう必要がある。

そのためにはまず、身近な野生生物をじっくりと観察することが必要となる。そこから、そもそも生物には多様性があるということ、そして生物個体は複雑な生態系のバランスの中で生きていることを体得してもらいたいということで、この事業はスタートした。体得してもらいたいポイントは下記の2点である。

- (1) 生物にはバリエーションがあり、多様で複雑な生態系の中で生物は生きていること。
- (2) 生物におけるバリエーションの要因としては、化学物質の影響も含め、様々な因子が考えられること。

この2点を体得し、きちんとした生物への理解をもった上で、化学物質が生態系に与える影響を考えることができる人を増やすことが、この事業の最終的な目的である。

内分泌かく乱化学物質問題のみならず生態系を視野においた、化学物質問題全般の原点である野生生物における異変把握のための身近な野生生物の継続的観察

### 〈参考〉

環境省ホームページ内に、この事業も含む、化学物質の内分泌かく乱作用に関する取り組み全体についての方針を記載していますので、ご参照下さい。

「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について-ExTEND 2005-」

<http://www.env.go.jp/chemi/end/extend2005/index.html>

(別添)

## こどもエコクラブ全国フェスティバルについて

各地で展開されている活動の紹介を通じ、こどもエコクラブ事業の拡大を図るため、毎年、こどもエコクラブの1年間の活動の締めくくりとなる全国フェスティバルが開催されている。

### I 平成18年度の全国フェスティバルは、以下のとおり行われた。

平成18年度の全国フェスティバルでは、全国のこどもエコクラブ(約4,800クラブ)のうち、壁新聞を応募して各都道府県から選ばれた46クラブ、神奈川県内の10クラブ、野生生物の観察隊代表3クラブの計59クラブが集まり、交流を深めた。

1. 期 日 2006年3月24日(土)、25日(日)
2. 会 場 神奈川県横須賀市 横須賀芸術劇場、神奈川県立三浦ふれあいの村、長井海の手公園ソレイユの丘
3. 主 催 こどもエコクラブ全国フェスティバル in よこすか実行委員会  
(環境省、神奈川県、横須賀市、(財)日本環境協会)

#### 4. プログラム

##### 【1日目3月24日(土)】

歓迎セレモニー  
交流プログラム  
壁新聞セッション  
宿泊(神奈川県立三浦ふれあいの村)

##### 【2日目3月25日(日)】

オープニングセレモニー  
ステレングャーショー  
ExTEND 2005 野生生物の観察事業特別講演会(さなかクン)  
壁新聞展示  
クロージングセレモニー

#### 5. 野生生物の観察事業

- (1) 野生生物の観察事業の代表3クラブ(「みずさわエコキッズ」、「平野の森」こどもエコクラブ、「カブトガニーズ」)を派遣した。
- (2) 代表3クラブは壁新聞を発表した。
- (3) ExTEND 2005 野生生物の観察事業特別講演会(さかなクン)

### II 平成19年度の全国フェスティバルは、平成20年3月29(土)、30日(日)に北九州市で開催予定。野生生物の観察事業では、下記を予定している。

- (1) 野生生物の観察事業の代表2団体を派遣。
- (2) 代表2団体は壁新聞を発表。
- (3) ExTEND 2005 野生生物の観察事業ブース出展及び、講演。